

英米文化学会会報

第 75 号

平成 20 年 5 月 15 日



テネシー州メンフィスにある国立公民権運動博物館。

かつてモーテルだった博物館の二階外廊下には、花束が飾られている。

まさにその場所で公民権運動の指導者キング牧師は、凶弾により、その生涯を閉じた。
この日も師の勇気と行動を学びに、多くの子どもたちが訪れていた。(撮影：佐野、2008年)

目次

- ◆ 例会担当より 英米文化学会第 126 回例会と臨時総会のお知らせ
- ◆ 大会担当より 英米文化学会第 26 回大会のお知らせ
- ◆ 財務担当より 財務から年会費納入のお願い
- ◆ 事務局より 第 26 回大会の宿泊申し込み・会員消息

◆英米文化学会第 126 回例会と臨時総会のお知らせ (分科会担当理事: 小林弘)
標記の会を下記の要領で開催します。万障お繰り合わせの上ぜひご出席下さい。

日時：平成 20 年 6 月 14 日(土)午後 3 時 00 分～5 時 30 分

午後 2 時 30 分受付開始

場所：日本大学歯学部 4 号館 地下セミナー室 <地図は 4 ページに掲載>

(JR 御茶ノ水、営団千代田線新御茶ノ水、都営新宿線小川町 他 下車)

臨時総会 : 午後 5 時 30 分～6 時 例会と同じ会場にて開催します。

懇親会：いこい (例会会場の斜め向かいの建物、日大歯学部 3 号館地下)

会費：2,000 円 午後 6 時 00 分～8 時 00 分

懇親会のみへの参加も歓迎いたします。

開会挨拶

英米文化学会会長

小野 昌 (城西大学)

(3:00—3:10)

研究発表

1. 田園化された身体

—前世紀転換期イギリスにおける身体文化—

(3:10—3:50)

発表 赤瀬理穂 (神戸大学大学院)

司会 塚田英博 (城西大学)

2. D. H. ロレンスとウィッター・ビナー

(3:50—4:30)

発表 川田伸道 (同志社大学)

司会 中林正身 (相模女子大学)

————— 小休止(4:30—4:40) —————

3. 躓きの石としてのグロテスク

—フラナリー・オコナーの「川」をめぐる考察—

(4:40—5:20)

発表 田中浩司 (防衛大学校)

司会 河内裕二 (明星大学)

閉会挨拶

英米文化学会副会長

石川郁二 (法政大学)

(5:20—5:30)

研究発表抄録

1. 田園化された身体

—前世紀転換期イギリスにおける身体文化—

赤瀬理穂 (神戸大学大学院)

ダーウィンの『種の起原』は、自然科学のみならずヴィクトリア朝社会に多大な影響を与えた。環境が生物の形質や生存を左右するという自然選択説は当時の都市問題に適用され、「身体の退化」が取り沙汰された。世紀が転換し大英帝国の存続が危ぶまれると、身体の退化は帝国を支配する「イギリス人」の退化問題へと発展し、結果、身体改良の模索がはじまった。「イギリス人」を規定するアイデンティティの形成は意識作用の点から論じられることが多いが、「身体」という視点からのアプローチは稀である。「田園」という心象が成立し、歴史教育、つまりイギリス人共通の記憶の刷り込みが活発化した前世紀転換期は、諸科学の発達によって身体が調査、分類、規律化された時期でもあった。本発表では、このような社会情勢を背景として、「イギリス人」の心性の成立に連繋し、身体性が理想のイギリスのイメージ「田園」と密接に絡んでいく過程を紹介する。

2. D. H. ロレンスとウィッター・ビナー

川田伸道 (同志社大学)

『羽鱗の蛇』とその前身『ケツアルコアトル』に登場するオーウェン(Owen Rhys)のモデルになっているのは、ウィッター・ビナー(Witter Bynner) というアメリカの詩人・劇作家であることはよく知られている。オーウェンはこれらの作品では脇役に過ぎないが、その存在を見過ごすことはできない人物として描かれている。ビナーは 1953 年『天才との旅』を記し、D. H.ロレンス(D. H. Lawrence)を辛辣に描いているが、井上善夫氏が詳細に論じているように、ビナーが記す回想と現実とは食い違っている部分がある。本論では、なぜビナーはロレンスの死後約 20 年後にロレンスの回想録を書いたのか、また、なぜロレンスが彼を小説の主人公ではなく、脇役に留めたのかを明らかにするため、伝記や手紙、あるいは作品(ロレンスが描写するビナー、ビナーが描くロレンス)を精査し、この二人の関係を考察する。

3. 「躓きの石」としてのグロテスク

—フラナリー・オコナーの「川」に関する宗教的一考察—

田中浩司 (防衛大学校)

「川」(“The River”)は、家庭愛に恵まれないハリー (Harry) が子守のコンニン夫人 (Mrs. Connin) に連れて行かれた川での伝道集会において、プロテスタントのファンダメンタルな伝道師ベベル・サマーズ(Bevel Summers)から洗礼を受け、帰宅後に再度戻って川に入り、自身に再洗礼をほどこすかの如くにして川にさらわれてゆくというストーリーを持つ、カトリック作家の手になる短篇小説である。川での一部始終を見守り、ハリーの再洗礼を妨げるかの如くに川の中まで彼を追いかけていくパラダイス氏 (Mr. Paradise) は、そのグロテスクな外見と反キリスト教的な言葉、ハリーの再洗礼を妨げる行為の故に、多くの評家たちにこの世の悪の表象と解釈されているが、本発表では、パラダイス氏というグロテスクな人物の本質を探るべく、宗教的な視点より考察を試み、彼の本質には「躓きの石」というキリスト信仰における重要な鍵が隠されていることを解き明かす。

14日(受付開始 9:30)

研究発表(10:00~14:30)

1. カナダの先住民族の生活を脅かすリゾート開発 坂部俊行(北海道工業大学)
2. 存在構文と前置詞の習得 —— 認知言語学に基づく英語教授法の実践とその効果
森千佳子(東京純心女子大学) 金子智香(茨城大学)
3. フェミニスト・シンキングと英語教育 吉原令子(日本大学)
4. Dreaming of the Feminine in Man: A Reading of Steinbeck's *Of Mice and Men*
Steve Redford(静岡大学)
5. 教育的視点から見たグループ「アラバマ」の歌詞 佐野潤一郎(創価大学)

*発表等は変更の可能性があります。次回の会報で宿泊(13日)、懇親会等の希望を募ります。

当日会費: 一般 500円 学生 300円

大会事務局: 人間総合科学大学人間科学部 大東 俊一研究室内
〒101-8360 さいたま市岩槻区馬込 1288

Tel: 048-749-6111 E-mail: ShunichiDaito(at)SES-online.jp

学会ホームページ: <http://www.ses-online.jp/indexj.html>



文京学園軽井沢セミナーハウス(軽井沢駅から南へ3.5km。タクシーで5分)

〒389-0102 長野県北佐久郡軽井沢町大字軽井沢 1019-247

◆財務から年会費納入のお願い (財務担当理事：山根正弘)

平成 20 年度年会費を同封の郵便振替用紙にて納入をお願いします。
すでにお振込の方はご容赦下さい。事務手続上、全員に発送しています。
受領証は領収証に代わるものですので、必ず保管をお願いします。
なお、複数年度の年会費などを納入する場合は、金額を訂正するか
ゆうちょ銀行・郵便局に備え付けの振込取扱票をご利用ください。
納入状況は、山根 MasahiroYamane(at)SES-online.jp に問い合わせ下さい。

<おことわり>

メールアドレスの表記については、@入りのメールアドレスを検索・流用して迷惑メールを送りつける悪質な業者が、昨今、多いようですので、「@」を「(at)」に置き換えて表記させていただいております。
メール作成のときには、お手数とは存じますが、@に置き換えてご送信いただきたくお願いいたします。

年会費：5,000円

口座番号：00160-7-611777

加入者名：英米文化学会

◆事務局より (事務局担当理事：大東俊一)

<第26回大会の宿泊申し込みについて>

9月13日(土)、14日(日)に文京学院大学軽井沢セミナーハウスにおいて開催予定の今年度の大会の宿泊につきましては、7月中旬発行予定の次号の会報にて詳細をお知らせし、希望を募らせて頂きます。

なお、宿泊は9月13～14日の1泊2日に限らせて頂きます。

宿泊費は夕・朝食付きで7,600～8,600円(未定)ですが、懇親会費、14日の昼食代など、次号でお知らせ致します。

<会員消息>

省略

英米文化学会会報 第75号 編集/発行：英米文化学会 編集責任者：佐野潤一郎
〒181-0012 東京都三鷹市上連雀5-27-23

英米文化学会事務局 〒339-8539 さいたま市岩槻区馬込1288 人間総合科学大学人間科学部 大東俊一研究室内
Tel:048-749-6111(office), 03-5399-3395(home) E-mail:ShunichiDaito(at)SES-online.jp
年会費等振込先：郵便振替 加入者名 英米文化学会 口座番号 00160-7-611777
学会ホームページ <http://www.SES-online.jp/indexj.html>